

令和3年12月9日

小平市教育委員会教育長 殿

小平市立小平第十四小学校給食運営委員会
委員長 小林 広二

令和3年度 小平市立小平第十四小学校給食運営委員会（第1回）について

このことについて下記の通り報告します。

記

日時 : 令和3年12月8日(水) 午後0時から午後1時05分まで

会場 : 小平第十四小学校 ランチルーム

出席者 : 12名

傍聴者 : 0名

会議の概要

1 運営委員長挨拶

本日は寒い雨の中お集まりいただき感謝する。今年度第1回の給食運営委員会である。本来であれば、もう少し早い時期に開催したいところであったが、新型コロナウイルス感染拡大防止ということもあり、本日の開催となった。日頃から栄養士を中心に、受託事業者と協力し、子どもたちのために安全で安心かつ、栄養価のバランスのとれた給食を工夫して提供している。毎日、子どもたちの提供前に校長が検食を行い、異状がないか確認している。12月の給食実施17回のうち13回アレルギー対応がある。間違いのないよう、ヒヤリハットも含めた事故防止を心がけ、確認を行っている。給食についてご理解、ご協力をお願いしたい。

2 試食

*献立紹介

3 委員紹介

4 協議

学務課長) 小平市立小学校19校のうち12校で調理業務委託を実施している。調理業務委託実施校には、保護者、教職員、受託事業者、教育委員会が一堂に会して給食運営について話し合う運営委員会を設置している。給食についてご意見をいただき、より安全で、美味しい給食が提供をしていきたいと考える。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の休校期間があり、給食の提

供ができない時期もあったが、今年度は4月から給食提供ができています。子どもたちは、黙食をがんばっていると感じている。校内では音楽や映像などで楽しい給食時間となる工夫をいただいている。本日は忌憚のないご意見をいただけるとありがたい

栄養士) 十四小の給食について説明。

栄養バランスのとれた、おいしく、衛生的に安全な手作り給食を提供している。主食は週5回のうち3～4回、麺とパンが1～2回である。衛生管理は小平市衛生管理マニュアルに沿って実施している。アレルギーの対応には、複数人での確認を行い細心の注意を払っている。毎日、学校ホームページに実施献立を公開しているのでご覧いただきたい。

受託事業者) 十四小を受託して二年目である。会社は創業59年、学校給食の受託は48年の歴史がある。十四小の運営体制は社員3名、パート5名である。従業員教育として、アレルギー・安全衛生等マニュアルに沿った研修、調理講習、業務報告会、アレルギー研修会などを実施している。安全衛生管理として、専門検査員による検査、異物混入対策、コロナ感染対策等を講じている。ノロウイルス対策は、調理員本人のみでなく同居家族の有症時にも出勤停止を命じている。

保護者) 試食がおいしかった。野菜の種類が多く、適度な大きさで食感があり良かった。学校ブログを毎日楽しみに見ている。子どもは、給食の献立を確認してから楽しみに登校する時もある。カップケーキの日に上手に外せずに落としてしまい残念だったと帰宅したことがあった。また、毎年恒例の献立だが、入学後、間もないころに食べ慣れていない献立があり、子どもたちが食べられているのか気になっていた。

栄養士) カップが外せないお子さんの様子を確認しておくようにする。

保護者) おいしかった。噛み応えが程よく良いと思った。毎日、夜には子どもと一緒に学校ブログを見ている。今日一日の楽しかったことを話しているが、給食がおいしかったと話題になることが多い。

保護者) 帰宅するとお腹が空いたということが多い。盛り付け量がどのくらいなのか気になる。家庭では食べないものでも給食では食べられたと知っている。味付けも食べやすいと思った。

栄養士) 担任が個人の食事量を把握するようにしている。盛り付け量は学年ごとに変わる。限られた給食時間の中で、準備等早めて、食べる時間が確保できるよう声掛けを行っていく。

保護者) 子どもはパンが好きなので、パンの日はとても楽しみにしている。ごはんは今日のような味付きで具材が混ぜてあるのは食べやすくて良いと思った。

保護者) 自分は子どものころにパンが苦手だったので、今はごはんの日が増えて良いと思っている。家庭でも夕食の時に、給食が話題になることが多い。

保護者) 日々の献立は、他校とは違うのか。十四小オリジナルなのか。

栄養士) そうである。

学校) 以前は6年生の卒業バイキングや、鍋給食など行事給食を実施していたが、コロナ禍の状況で実施できないこともある。代わって6年生からのリクエスト給食を実施している。

以上